

経営比較分析表（令和5年度決算）

静岡県 函南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	67.64	88.95	2,310	

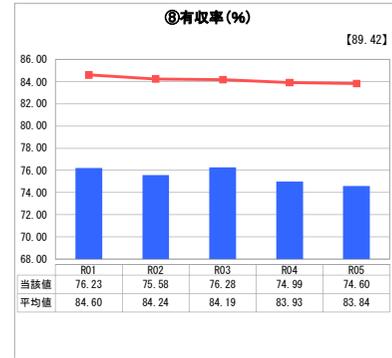
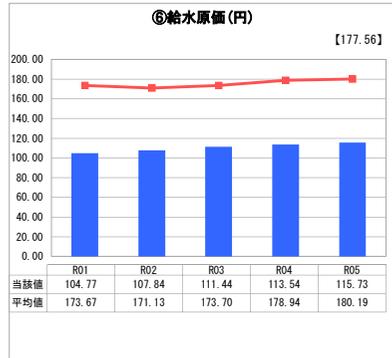
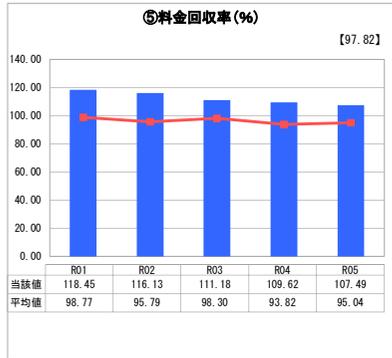
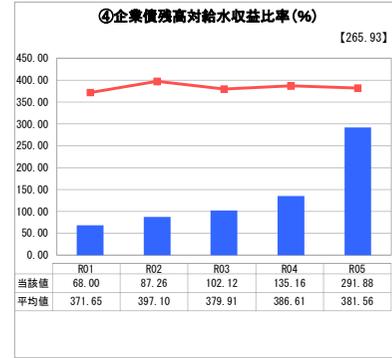
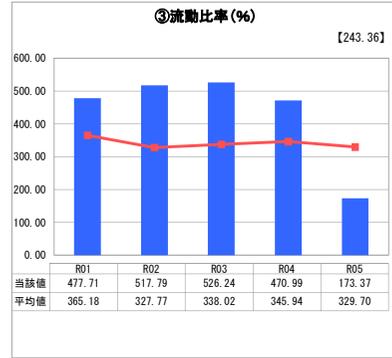
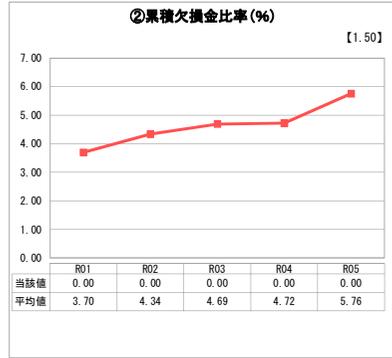
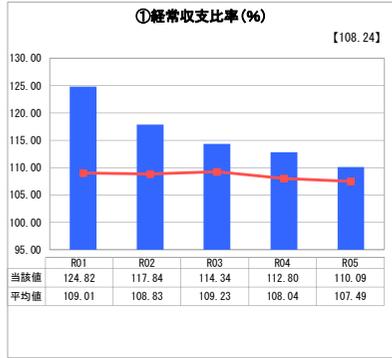
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
36,650	26.63	1,376.27
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
32,385	15.55	2,082.64

グラフ凡例

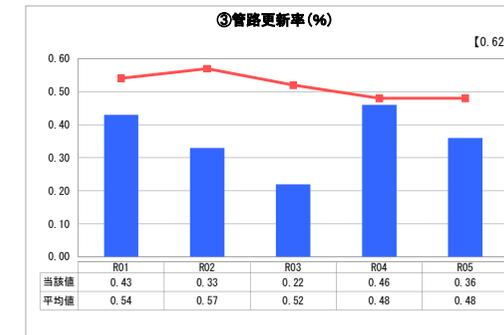
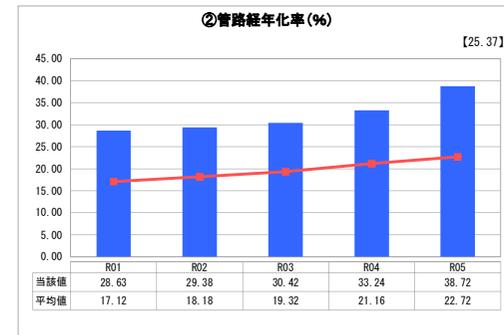
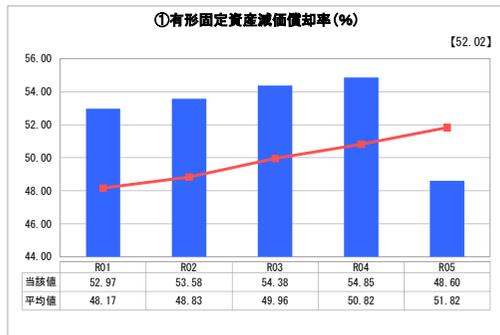
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は平均値を上回っており、経営状況は健全であるが、水需要の減少に伴う料金収入の減少、人件費や水道施設の維持管理費の増加により低下傾向にある。今後も水需要の減少、人件費及び維持管理費の増加が見込まれるため、料金改定の検討、経営の安定化が必要である。

② 累積欠損金比率は0%と累積欠損金は発生しておらず、健全な経営状況といえる。

③ 流動比率は100%以上であり、令和4年度までは平均値を上回っており、短期債務に対する十分な支払い能力を有している。なお、令和5年度については施設の更新工事に伴う一時的な流動負債(未払金)の増加により流動比率が低くなっているが、令和6年度には解消される見込みである。

④ 企業債残高対給水収益比率は、令和5年度に施設の更新工事に伴う起債により大きく上がっているが、平均値に比べ低くなっている。後は施設の更新を継続的に実施していくため増加することが見込まれる。

⑤ 料金回収率は100%を上回っており、健全な経営状況と見えるが、減少傾向となっていることから、今後、経費縮減と共に料金改定の検討が必要である。

⑥ 給水原価は上昇傾向ではあるが、各平均値を下回っている。今後も計画的、効率的な水道施設の維持管理等に努め、支出の抑制を目指していく必要がある。

⑦ 施設利用率は水需要の減少により微減傾向にあるものの、平均値と概ね同程度である。後は施設更新に併せて適切なダウンサイジングの検討が必要となってくる。

⑧ 有収率は全国平均、類似団体平均値を下回っている。有収率の低下の主な要因は老朽管からの漏水と想定されるので、管路更新計画に基づいた効率的な管路更新を推進していく。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は令和4年度までは平均値を上回っており増加傾向にあったが、令和5年度は施設の更新工事による償却資産の増加に伴い有形固定資産減価償却率は改善されている。しかしながら、今後も施設更新計画や管路更新計画に基づいた計画的な施設や管路の更新を推進していく必要がある。

② 管路経年化率は、年々上昇しており、平均値を上回っていることから、管路更新計画と令和6年度に策定する上下水道耐震化計画に基づき計画的に老朽管の更新を推進していく必要がある。

③ 管路更新率は平均値を下回っているが、令和4年度から管路更新計画に基づく更新を推進していることにより上昇している。令和5年度の管路更新率は近年の物価高騰等に伴う工事費の上昇により低下した。

全体総括

経営状況については、概ね健全な状況にあると考えられるが、今後も水需要の減少が見込まれるなか、施設や管路の更新、耐震化を進める必要があり、その財源確保が課題となっている。そのため、料金改定の検討を含め、財政の見直しを把握することが必要である。

老朽化については、施設、管路ともに老朽化が進んでいくため、施設更新計画や管路更新計画、令和6年度に更新する経営戦略に基づき計画的、効率的に更新を推進する必要がある。また、更新にあたっては水需要に見合った適切な規模を検討し、更新費用の抑制を図る必要がある。